

豊島区 産業 振興指針

Toshima City
Industrial Promotion
Guidelines

【概要版】令和6(2024)年3月





産業振興指針って何？

豊島区の産業を取り巻く社会経済状況、地域の現状や課題を明確にし、今後 10 年間に産業振興の目指すべき方向性や取組を整理するために定めたものです。

「豊島区基本構想」や「豊島区基本計画」の産業分野における最上位計画として位置づけ、5 年後には中間見直しを行います。

産業振興って？

商業、工業、観光などの区内事業者が営しやすい環境を整え、起業を支援することで、地域産業の持続可能性を高めることです。

豊島区では、行政だけでなく、区民、事業者、教育機関や金融機関、商店会や産業経済団体などが連携することで地域の価値を高め、誰もが豊かに暮らすことのできるまちを産業面からつくりだすことを重視しています。

何を目指すの？

「多彩な人がつながり 発展し続ける産業都市 としま」を目指し、行政だけでなく、働く人や学ぶ人、住む人や訪れる人も一体となって取組を進め、あらゆる障壁をなくし、誰もが活躍できる、活気あふれるまちを実現します。

豊島区のいま

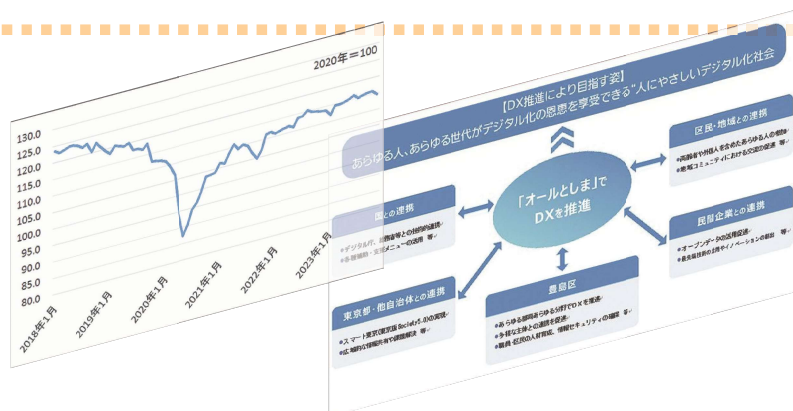


豊島区は、交通の結節点である副都心「池袋」を中心に、活気あふれる商業施設から歴史ある文化財、閑静な住宅街まで、様々な顔を持つ彩りあふれるまちです。

各種オープンデータや実態調査をもとに現状と課題を整理し、分野ごとに「豊島区のいま」をまとめます。

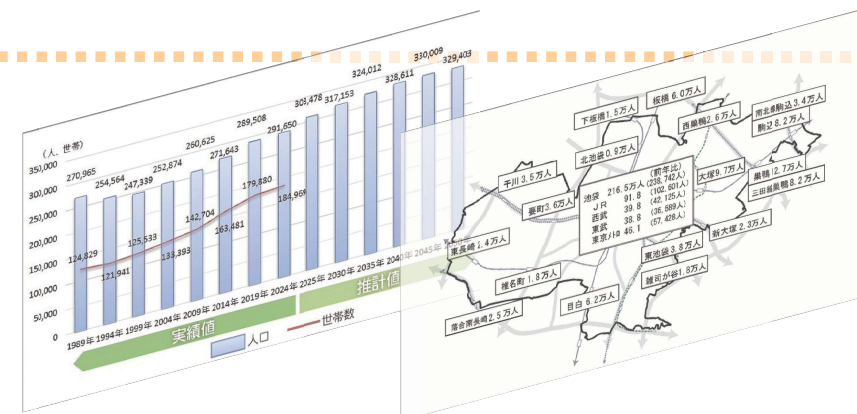
区をとりまく社会経済状況

- 新型コロナウイルス感染症や国際情勢不安による世界経済への打撃
- デジタル化の推進とデジタル産業の育成への動き
- 誰一人取り残さない社会の実現に向けた SDGs の取組の活性化
- グリーン社会の実現に向けた機運の高まり



区の概況

- 全国的に少子高齢化が加速する一方で、豊島区の人口は約 29 万人と増加傾向
- 池袋駅の乗降客数は都内主要駅中 3 位を誇る、高い交通利便性
- 商業地の地価の上昇 (23 区中 6 位)





中小企業・消費生活

現状

- 売上高の減少傾向、新型コロナウイルス感染症による悪影響が継続
- 事業所数(約1.9万)、従業員数(約27万人)が増加傾向
- 「卸売業・小売業」、「宿泊業・飲食サービス業」の順に事業所が多い
- 創業比率は全国平均を上回り、23区中5位
- エシカル消費に関する認知度が低い

課題

- 販路拡大と人材確保を課題視する事業者が多い
- 景気の影響や社会情勢の急速な変化に対応することが困難
- 多様な人材が起業に挑戦できる環境が不足している
- 消費者のみならず事業者への情報発信が必要

雇用・働き方

現状

- 高齢者／女性の就業者数(約2.4万人／約9.7万人)が増加
- 豊島区に住み働く人は約3割であり、増加傾向
- 外国人就業者の割合が高い(23区中4位)
- 半数以上の事業者が人材不足

課題

- 人材不足の解消のため、多様な経験を持つ人材の獲得が必要
- 次世代の育成や円滑な事業承継はハードルが高い
- 多様な働き方が広まらず、人材が定着しづらい

商店街

現状

- 地域に密着した多彩な87の商店会
- 会員の高齢化、商店会数および会員数の減少
- 区に求める支援の1位は空き店舗対策
- 若手・後継者の育成が進んでいない

課題

- 商店会の組織力・活動力が低下している
- 来街者が利用しやすい、安全・安心でにぎわいあふれる商店街づくりが必要
- 商店街の情報発信が不足しており、来街者の回遊につながらない

観光

現状

- 宿泊施設数は多いが(23区中3位)、滞在日数が短い(1日が6割)
- 訪問目的は「観光・娯楽・レジャー」が最多、池袋エリアが8割以上を占める
- クリエイティブ産業の割合は約15%(23区中9位)

課題

- 地域の魅力の掘り起こしとターゲットに応じた情報発信が不足している
- 誰もが観光を楽しめる環境整備が必要
- 観光消費額の拡大に向け、産業と観光を融合させた新たな取組が必要



行政だけでなく、働く人や学ぶ人、住む人や訪れる人も一体となって取組を進め、あらゆる障壁をなくし、誰もが活躍できる、活気あふれるまちを実現します。

将来像

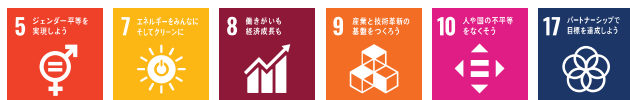
多彩な人がつながり 発展し続ける産業都市 としま

目指す姿

- 持続的な経営力を誇る”としま100年企業”を輩出するとともに、起業へのチャレンジを地域全体でサポートするまち
- 商店街が地域コミュニティの核となり、産学官、分野を超えた多様な主体・多彩な人が連携し、誰もが楽しめる活気あるまち
- あらゆる主体が安心して長く働き続けることができ、多くの未来の担い手が育つまち
- 地域資源の魅力が輝き、国内外多くの人々をひきつけ、常ににぎわいを創出し続けるまち
- 消費者と事業者がお互いを信頼し、手を取り合いながら発展していくまち



指針1 中小企業の経営力強化と起業の促進



【方向性① 経営基盤の強化】

- 相談機能の充実と情報発信の強化
- 資金調達の円滑化

【方向性② 多角的なビジネス支援】

- 販路拡大に向けたサポート
- SDGs達成に向けた取組支援

【方向性③ あらゆる人材へのスタートアップ支援】

- 多様な人材への起業支援
- 起業支援施設や人的ネットワークを活用した新ビジネスの創出





指針2 持続可能な商店街に向けた活性化支援



【方向性① 商店街のにぎわい向上支援】

- 商店街のにぎわいをもたらす事業への支援
- 来街者が利用しやすい商店街づくりへの支援

【方向性② 地域連携によるコミュニティ強化】

- 他団体との連携強化

【方向性③ 安全・安心で持続可能な商店街づくり】

- 安全・安心な商店街づくりへの支援
- 商店街の維持・発展





指針3 これからの産業を支える人材の育成と多様な働き方の推進



【方向性① 中小企業における人材の確保】

- 中小企業の人材確保支援
- 多様な労働力の活用

【方向性② 人材の育成と事業承継】

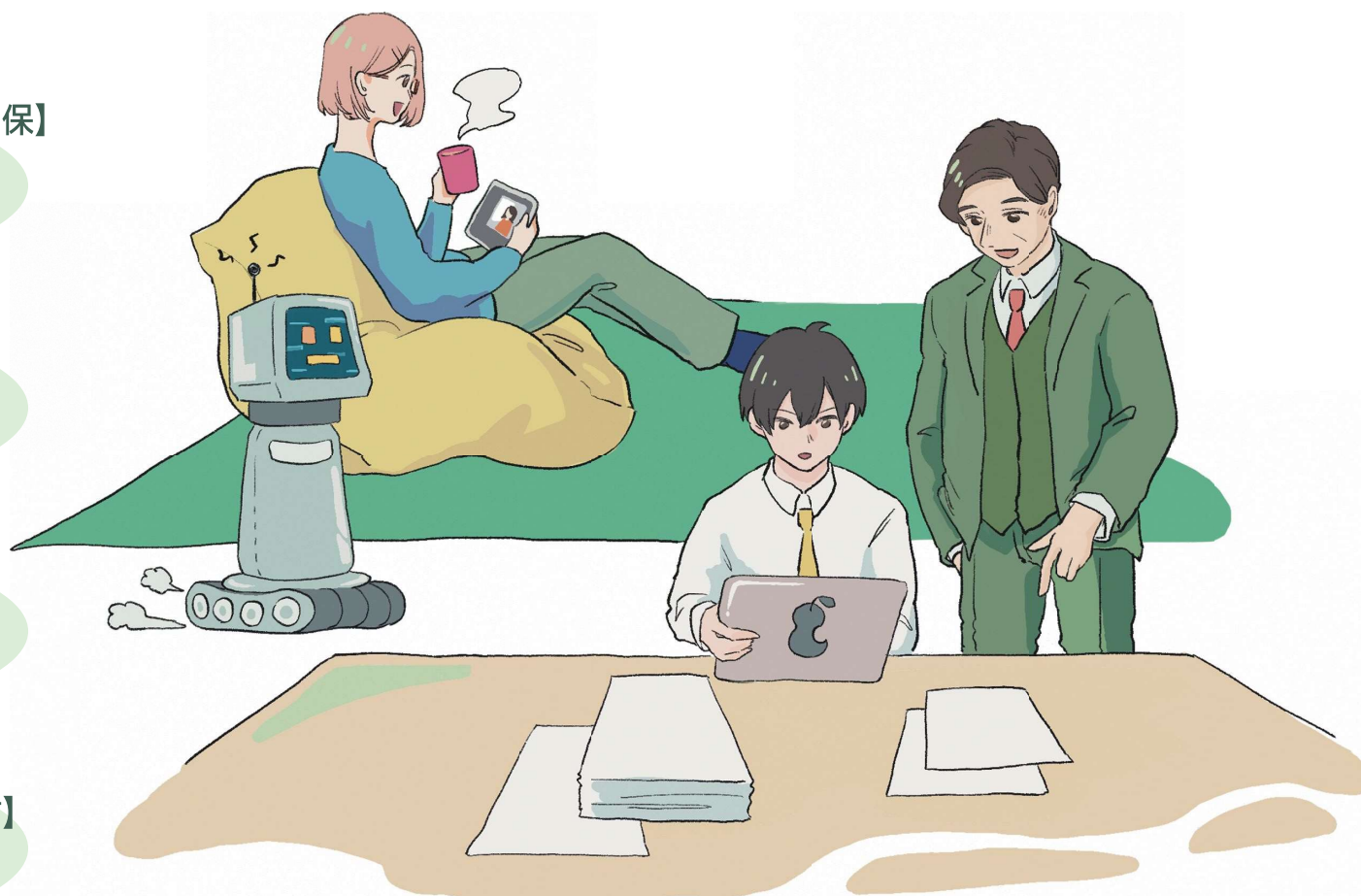
- 次世代の育成
- 事業承継の支援

【方向性③ 職場環境の充実】

- 多様な働き方の推進
- 安心して働ける労働環境の整備

【方向性④ 伝統工芸技術の承継と発信】

- 伝統工芸品の発信強化と販路拡大





指針 4 観光振興による地域社会・経済の好循環化



【方向性① まちの魅力の活用推進】

- 地域の魅力発見・発信
- としまの地域ブランドのさらなる磨き上げ

【方向性② 誰もが観光を楽しめる環境の整備】

- ユニバーサルツーリズム※の推進
- インバウンドに向けた取組

【方向性③ 産業と観光の融合による新たな価値の創造】

- 商店街振興と融合した観光施策
- 区内銘品のブランディング



※ユニバーサルツーリズム
すべての人が楽しめるよう創られた旅行であり、高齢や障害等の有無にかかわらず、誰もが気兼ねなく参加できる旅行のこと。



指針 5 未来へつながる消費者市民社会の形成



【方向性① サステナブル※経営の推進】

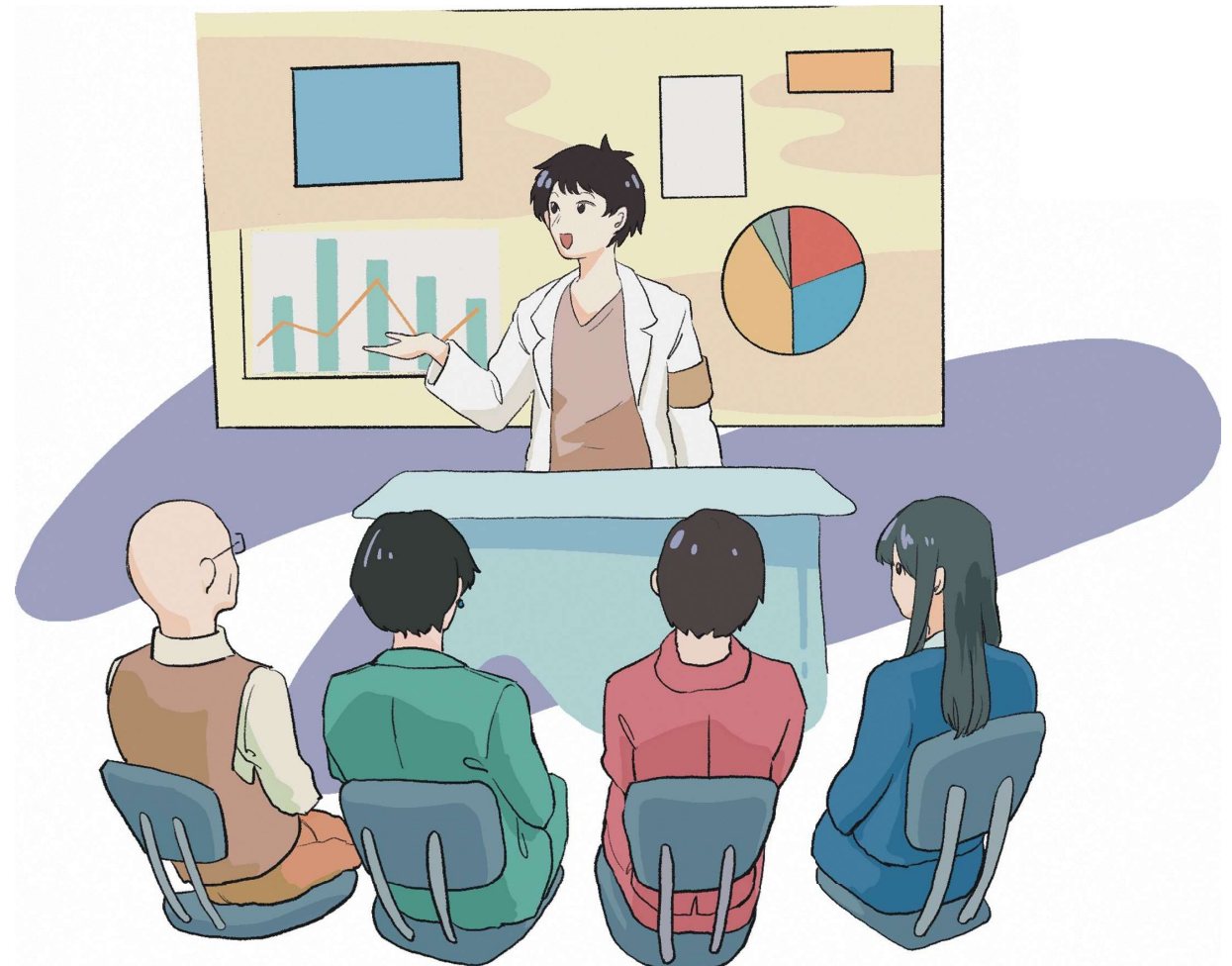
- 事業者に向けた啓発と情報発信

【方向性② 消費者の権利とつかう責任の啓発】

- 相談窓口の充実と関係団体との連携強化
- 消費者トラブルの未然防止啓発と消費者教育
- 消費者のつかう責任に関する啓発・教育の充実

※サステナブル

「持続可能な」「ずっと続けていける」という意味。





指針の推進体制

指針に掲げた事業の推進にあたっては、本指針における将来の目指す姿や具体的な取組について、区民、事業者・商店会のほか、教育機関・金融機関・産業団体へ広く周知し、それぞれの役割を担いながら、連携して取り組みます。また、国・東京都・他自治体などの外部団体とも連携・協力し、事業効率の向上と効果の拡大を図ります。



指針の評価および進捗管理

P D C A サイクル (Plan : 計画、Do : 実行、check : 検証・評価、Action : 改善) の考え方をうい、確実に施策や事業を展開します。

指針に関する基本的事項の目標設定や進捗管理は、「豊島区基本計画」や「未来戦略推進プラン」、「事務事業評価」を活用して行います。また、豊島区商工政策審議会において各年度における進捗状況を点検・評価するとともに、区内産業団体等の意見を聴取する機会を定期的に設定し、取組の方法や内容の適切な見直しを、継続的に行っていきます。



産業関連情報の詳細はこちら

下記二次元バーコードから、ご覧いただけます



産業振興指針〈本編〉



報告書(実態調査、
豊島区中小企業の景況)

【お問い合わせ】

豊島区文化商工部生活産業課

〒171-8422 豊島区南池袋2-45-1

電話:03-4566-2747

メール:A0014205@city.toshima.lg.jp

